

歴史 (SONY)

「SONY」は創業まもない東京通信工業（ソニーの前身）が、東京・日本橋から品川・御殿山に本社を移転したのが昭和22年（1947年）でした。

その後、昭和38年（1963年）10月に、大崎駅前にある園池製作所が本社工場を神奈川県小田原市に移転するため、同製作所の敷地と建物を買収、「大崎工場」とすることになりました。この新工場は大崎駅から徒歩2分、品川御殿山の本社工場からも約10分という地理的に恵まれた所にあり、建物は、地上4階、地下1階、総面積1万200平方メートルの大きさでした。

「SONY」と言えば、世界的に有名な数々の製品を開発し、その多くがこの大崎の地で創り上げられてきたのです。現在工場跡地は、「ソニーシティ大崎」から名称を変更して「NBF大崎ビル」となっています。

